

S I P (戦略的イノベーション創造プログラム)  
『革新的設計生産技術』推進委員会 (第5回) 議事要旨

1. 日 時 : 平成27年10月19日 (月) 13:30~15:30

2. 場 所 : 中央合同庁舎4号館2階共用第3特別会議室

3. 出席者 : (敬称略)

(総合科学技術・イノベーション会議)

久間 和生 常勤議員 S I Pガバニングボード議長

(議長)

佐々木 直哉 プログラムディレクター (PD)

(サブプログラムディレクター)

帯川 利之 東京大学 生産技術研究所 機械・生体系部門 教授

安井 公治 三菱電機(株) F Aシステム事業本部 産業メカトロニクス事業部 技師長

善本 哲夫 立命館大学 経営学部 デザイン科学研究センター 教授

(推進委員)

塩見 篤史 経済産業省 産業技術環境局 研究開発課 戦略官

弓取 修二 N E D O ロボット・機械システム部 部長

(オブザーバ)

門川 員浩 経済産業省 産業技術環境局 研究開発課

近藤 昂一郎 文部科学省 科学技術・学術政策局研究開発基盤課量子放射線研究推進室行政調査員

照沼 勝彦 N E D O ロボット・機械システム部 主幹

丹野 興一 N E D O ロボット・機械システム部 主査

鈴木 律 N E D O ロボット・機械システム部 主査

須永 吉彦 N E D O ロボット・機械システム部

緒方 寛 J S T 研究開発戦略センター フェロー

(発表者)

塚本 雅裕 大阪大学 接合科学研究所 加工システム部門エネルギープロセス学分野 准教授

新野 俊樹 東京大学 生産技術研究所 第2部/機械生体系 付加製造科学研究室・教授

早野 誠治 アスペクト

相馬 淳人 エリジオン

横山 幸雄 東京都 産業技術研究センター

岩崎 拓也 みずほ情報総研 サイエンスソリューション部 シニアコンサルタント

(事務局)

松本 英三 内閣府 科学技術・イノベーション担当 審議官

岩松 潤 内閣府 科学技術・イノベーション担当 参事官

大洞 龍真 内閣府 科学技術・イノベーション担当 企画官

守屋 直文 内閣府 科学技術・イノベーション担当 政策企画調査官  
山本 大介 内閣府 科学技術・イノベーション担当 政策調査員  
小笠原 伸二 内閣府 科学技術・イノベーション担当 政策調査員

#### 4. 議事

(1) 全体進捗報告

【以降、研究開発計画詳細が含まれるため非公開】

(2) 各研究テーマ進捗報告

- ・高付加価値設計・製造を実現するレーザーコーティング技術の研究開発
- ・Additive Manufacturing を核とした新しいものづくり創出の研究開発

(3) 研究テーマのビジネスモデル・シナリオに関する検討

(4) 研究プロジェクトの実用化・事業化に係るリスクマネジメントの試行的実施

(5) その他

#### 5. 配布資料

資料1-1 全体進捗報告

資料1-2 24 研究テーマへの予算配分方針

資料1-3 平成27年度予算額について

資料2-1 高付加価値設計・製造を実現するレーザーコーティング技術の研究開発  
【非公開】

資料2-2 ADDITIVE MANUFACTURING を核とした新しいものづくり創出の研究開発  
【非公開】

資料3-1 研究テーマのビジネスモデル・シナリオに関する検討【非公開】

資料4-1 研究プロジェクトの実用化・事業化に係るリスクマネジメントの試行的実施  
【非公開】

資料5-1 S I P革新的設計生産技術 研究開発計画（修正案）【非公開】

資料5-2 年間スケジュール【非公開】

参考資料1 S I P革新的設計生産技術 推進委員会構成員名簿

参考資料2 S I P革新的設計生産技術 推進委員会（第4回）議事要旨

参考資料3 S I P革新的設計生産技術 24 研究テーマ概要

参考資料4 S I P革新的設計生産技術 24 研究テーマ工程表【非公開】

## 6. 議事要旨

### (1) 全体進捗報告

資料1-1、資料1-2、資料1-3に基づき、事務局より説明がなされた。

### (2) 各研究テーマ進捗報告【非公開】

- ・高付加価値設計・製造を実現するレーザーコーティング技術の研究開発

資料2-1に基づき、本研究テーマの研究テーマ責任者である大阪大学 塚本先生より発表がなされた。

- ・Additive Manufacturing を核とした新しいものづくり創出の研究開発

資料2-2に基づき、本研究テーマの研究テーマ責任者より東京大学 新野先生より発表がなされた。

### (3) 研究テーマのビジネスモデル・シナリオに関する検討

資料3-1に基づき、委託先であるみずほ情報総研より説明がなされた。

### (4) 研究プロジェクトの実用化・事業化に係るリスクマネジメントの試行的実施

資料4-1に基づき、管理法人であるNEDOより説明がなされた。

### (5) その他

資料5-1、資料5-2に基づき、追加配分を受けて修正した全体研究開発計画と今後の予定について、事務局より説明がなされた。